

令和7年度から令和10年度使用中学校用教科用図書の採択理由について

種目	発行者名	主な採択理由
国 語	光村図書	「話すこと・聞くこと」は1年7つ、2・3年6つの教材で構成され、3年間を通して系統的に学べるよう工夫されている。「読むこと」と「書くこと」の学習を関連付けた単元が設定されている。 学習の見通しがもてるように、教材ごとに「学びへの扉」を設けている。「学びのカギ」で、身に付ける資質・能力を焦点化し図解で示し、視覚的に捉えられるよう工夫されている。巻末に『「学びのカギ」一覧』を示し、領域を越えた学びのつながりにより、理解が深まるよう工夫されている。言葉について意識できるよう系統的に構成され、「言の葉ポケット」「語彙ブック」「資料編」などで、言葉の味わいを捉えられるよう工夫されている。 ポップ作りや読書会や読書記録、ブックトーク、ブックレビューなど、社会生活とつながる読書活動が取り入れられている。QRコードから、学習の参考となる資料を閲覧したり、家庭学習等で活用できる漢字練習や解答を書き込めるコンテンツを利用したりすることができるように工夫されている。
書 写	教育出版	学習過程を「学習の進め方」として「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」「学習や日常生活に生かそう」で構成し、内容や手順を明確にすることで、見通しをもち主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 各教材において「試し書き」「考えよう」「生かそう」「まとめ書き」など随所に書き込み欄が設けられており、教科書に直接書くことを通して、自分の課題に気付き、話し合い活動などに取り組み、振り返ることで、「書く力」を身に付けられるように工夫されている。 毛筆教材では「試し書き」で硬筆、「考えよう」で毛筆の課題を発見・確認し、毛筆と硬筆を関連させて学習することができるよう工夫されている。 「まなびリンク」(QRコード)が設定され、デジタルコンテンツ等の資料を効率よく活用できるように工夫されている。 「コラム」のページでは、文字に関する資料が掲載されており、文字の変遷や楷书・行書の違い、文字の歴史・種類等が示されている。
社 会 (地理的分野)	東京書籍	見開きで1単位時間の構成とし、導入資料、学習課題、本文、「チェック&トライ」の流れで、問いを軸に構造化されている。各章の冒頭で「小学校の社会で習ったことば」を示し、小学校での学習とのつながりが円滑になるよう工夫されている。 「スキル・アップ」を設け、資料の読み取りなどの地理学習における基礎的・基本的な技能を系統的に身に付けさせることができるように工夫されている。各単元の導入部で単元全体を貫く「探究課題」を立て、単元末の「まとめの活動」で、思考ツールを用いて考えを整理し、学習内容を自分の言葉でまとめることで、課題解決的な学習ができるように工夫されている。 QRコードが設けられ、動画やクイズが取り入れられており、学習効果が高まるように工夫されている。また、巻頭見開きで「持続可能な社会の実現に向けて」を紹介するなどして、現代的な諸課題を意識・理解しながら、学習を進められるように工夫されている。

種目	発行者名	主な採択理由
社 会 (歴史的分野)	東京書籍	見開きで1単位時間とし、導入資料、学習課題が記され、「チェック&トライ」で学習した知識を活用し、身に付けた技能を「確かめよう」で活用できるよう構成されている。各時代の導入には、小学校の振り返りとグループでの協働的な活動が設けられており、単元全体を貫く「探究課題」を立てることで、学習に見通しをもたせるように工夫されている。 1単位のまとめ「チェック&トライ」では、学習内容の説明や要約できるような設問が用意されており、自分の言葉で表現できるよう工夫されている。また、章末「まとめの活動」では、思考ツールを活用し「探究のステップ」で節の問いを解決する活動が設けられ、「深めよう」で単元全体を貫く「探究課題」の解決へとつながられるように構成され、思考力、判断力、表現力等を育成するために工夫されている。「みんなでチャレンジ」では、個人とグループ活動の相互作用で学びを深めるよう工夫されている。 I C T機器を活用して利用できるQRコンテンツが設けられ、動画や画像が取り入れられており、学習効果が高まるよう工夫されている。
社 会 (公民的分野)	東京書籍	各章の冒頭に「導入の活動」が示され、章ごとに設定される社会との関わり方を考える「探究課題」により、個人と社会との関わりを中心に学習を深めるように工夫されている。見開きで1単位時間が構成され、学習課題、本文、資料、「チェック&トライ」等、1時間の学習の見通しがもてるように工夫されており、自身の考えを整理し表現できる構成となっている。 思考ツール等で考えを整理し、探究課題解決につなげる「深めよう」や、小集団での協働的な活動を行う「みんなでチャレンジ」が設定され、思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がされている。章末の「まとめの活動」では、思考ツールを使うことで学習内容を整理し、自身の考えを表現することで、学習効果が高まるように工夫されている。 QRコードやURLのリンクから、動画やシミュレーション等のコンテンツを活用できるよう工夫されている。各地の取組を紹介する「未来にアクセス」を設け、現代的な諸課題を明示した5つの視点から考察することで、持続可能な社会の形成を意識できるように工夫されている。
地 図	帝国書院	様々なページに設けられた「地図で発見!」の「問い」を追究することで、地図を読み解く際の基本的な技能や、地図を活用する力が身に付けられるように工夫されている。歴史アイコンや公民アイコンが設けられ、歴史的分野や公民的分野と関連付けて学習できるよう工夫されている。 世界の各州全てに掲載された鳥瞰図は、自然環境や生活・文化、産業などの特色がイラストで示され、地図帳を主体的に活用できるように工夫されている。世界の各州、日本の各地方には、降水量、人口、土地利用や、産業を中心に特色を捉えられる様々な主題図を掲載し、基本的な知識が習得できるように工夫されている。自然や人口などの資料図の縮尺を統一することで、比較を通して地域の特色が考察できるように工夫されている。 QRコードには、学習内容の習得や、調べ学習のために「小学校の振り返り」「地図の基礎・基本」「世界の地図・資料」等が掲載されている。防災や環境に関する地図や資料やマーク、SDG sに関する資料やアイコンが掲載され、課題を追求・解決する活動が展開できるように工夫されている。

種目	発行者名	主な採択理由
数 学	東京書籍	「大切にしたい数学の学び方」では、「問題をつかむ」「見通しをたてる」「問題を解決する」「ふり返る」「深める」といった問題解決的な学習の流れが示されている。学習意欲を高めるために、身の回りの生活問題を解決する活動から学習につながる導入課題が各節の最初に設定されている。 章の学習では、例題と似た問題に「♡」マークを付け、典型的な誤答を「×まちがい例」、既習事項の確認を「ちょっと確認」と示し、知識及び技能が習得されるように工夫されている。章末の「深い学び」では、問題を解決するための過程とともに、大切にしたい数学的な見方・考え方が示されており、思考力、判断力、表現力等を身に付けるように工夫されている。 紙面右下にあるQRコードを読み取ることで、動画やシミュレーションを用いて問題を解決したり、フラッシュカードで家庭学習に取り組んだりできるように工夫されている。「MATH CONNECT」「数学のまど」「数学×社会」では、日常生活や社会問題と数学のつながりが具体的に掲載されており、数学の有用性を意識できるように工夫されている。
理 科	東京書籍	単元や章の導入に、学習の動機付けや疑問を促す動画がQRコードで用意されており、興味・関心をもたせたり、見通しを立てさせたりし、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 問題発見から課題を把握し、仮説や構想を立てながら観察・実験を行うことで探究し、課題を解決していく構成となっている。また、「理科の見方・考え方」に関する観点が適宜掲載され、生徒が主体的に探究することができるように工夫されている。 1人1台端末の活用が効果的な場面や活用方法について、巻末でコンテンツを紹介したり、観察・実験の手段として取り入れたりするなどの工夫がある。デジタルコンテンツとして、動画やモデルシミュレーション、WebページやVR、他の教科との関連など、種類が豊富で活用しやすいように工夫されている。 安全と安心への配慮として、「理科室の決まり」を掲載し、観察・実験のページには、注意事項をアイコンと説明文で記載し、巻末に「主な薬品の性質ととりあつかいの注意」が設けられている。
音 楽 (一般)	教育芸術社	巻頭のページでは、歌唱、創作、鑑賞の領域ごとに、育成を目指す資質・能力と年間の学習内容とを関連付けて示すことで、学習内容と資質・能力の関わりが分かり、見通しをもち主体的に学べるように工夫されている。 「My Voice!」では、QA形式を用いて学習者が感じる疑問をイラストとともに掲載し、発声の特徴が示されている。「学びのコンパス」では、手立てやヒントなどが示され、「聞き取ったこと」「感じ取ったこと」を記述し、話し合い、音楽を形づくっている要素について考えることで、思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がされている。「My Melody」などの創作活動では、リズム要素を手がかりに音楽を主体的に捉え、音楽と豊かに関わりながら創作活動を進められるように工夫されている。 「日本音楽入門」などで、我が国の伝統音楽を取り上げたり、「生活や社会の中の音楽」で、音楽とSDGs、音楽の役割などを示したりすることで、音楽文化や生活の中にある音楽の理解を深めるための工夫がされている。QRコードでは、音源や動画等の資料を視聴し活用することができる。

種目	発行者名	主な採択理由
音 楽 (器楽合奏)	教育芸術社	巻頭のページでは、器楽の学習内容と育成を目指す資質・能力とを関連付けて示すことで、見通しをもてるように工夫されている。各楽器の奏法や構え方等を、様々な角度からの写真や文章による説明を示すことで、知識及び技能が習得されるように工夫されている。 各教材に、学習目標や音楽を形づくっている要素が設定されており、具体的な学習活動が提示されている。「学びのコンパス」では、生徒同士の対話的な学びが実践できるような手立てが示されている。リコーダーの楽曲は、ソプラノリコーダーとアルトリコーダーのどちらでも学習できるように楽譜が掲載され、生徒の実態に応じて平易な練習曲からアンサンブルや難易度の高い楽曲まで幅広く取り組めるよう工夫されている。「My Melody」では日本の音階を用いて、創作と関連付けて学べるように工夫されている。 著名な楽器奏者等の活動の様子や、なじみのある楽曲が掲載され、生活や社会の中の音や音楽について考える工夫がされている。QRコードでは、音源や資料を活用でき、個別最適な学びを支援できるように工夫されている。
美 術	光村図書	題材の冒頭に設けた鑑賞の問いかけや、「POINT」などの吹き出しによって、造形的な視点で捉えられるよう工夫されている。別冊「資料」に材料や用具の使い方の知識や技法をまとめ、活用しやすいように配慮されている。 吹き出しが青色と橙色の2色で構成されており、青色は生徒の言葉を表し、表現の意図を深め、主題に迫れるように工夫されている。橙色は造形的な視点を意識できる質問で構成され、生徒が主体的に自らの考えを深められるように示されている。制作過程が見える「みんなの工夫」では、生徒が試行錯誤しながら制作する様子が紹介されており、知識や理論の学習に偏らないように、制作意図や内面性を大切にすることを理解し、粘り強く自分の表現を追求することができるように工夫されている。 SDGsの目標の番号や道徳科の内容項目を示し、社会の中での美術の働きや人との関わりについて考えながら学べるよう工夫されている。デジタルコンテンツは、技術技法や作品の解説動画が用意されており、生徒が必要に応じて再生速度を選択できるなどの工夫がされている。
保健体育	東京書籍	1時間の学習の流れが「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」の4ステップで構成されており、写真や表などが効果的に使用されることで、見通しをもって学習を進めることができるよう工夫されている。 各単元にそれぞれのステップに応じた発問が設けられており、課題の合理的な解決に向けて、思考し判断するとともに表現することができるように工夫されている。また、「活用する」では、習得した知識・技能を活用して、他者に説明したり、話し合ったりすることで、思考を深める活動ができるように工夫されている。 生活につながる資料が掲載されており、自分たちの生活とのつながりを考えて、SDGsやテクノロジーなどについて学べるよう工夫されている。また、「巻末スキルブック」では、命や健康を守るためのスキルが身に付けられるように工夫されている。デジタルコンテンツでは、動画やシミュレーション、思考ツールなどが用意され、学習を広げるための工夫がされている。

種目	発行者名	主な採択理由
技術・家庭 (技術分野)	東京書籍	問題を解決するために身に付けるべき技能は、副題材の実践例や「TECH Lab」にまとめられており、問題に応じて習得した技能を適切に選択できるように工夫されている。また、ページの下部に配置された「技術の工夫」により、知識の定着を図れるように工夫されている。 各内容とも第1章で基本的な知識の習得を行い、その後「技術の問題解決の工夫」「問題の発見と課題の設定」を行う学習内容で構成されており、「問題解決の評価、改善・修正」を取り上げることで、自分たちの学習過程を振り返らせるように工夫されている。また、「統合的な問題解決」では、技術イノベーションにつながる問題解決となるように工夫されている。 「技術の匠」や「すごいぞ！技術」では、社会で活躍している技術に携わる人や、先進的な分野の紹介について掲載されており、生徒の勤労観や職業観を育むことができるよう工夫されている。また、学習に関心を持ち、学習効果を高めるための技能に関する動画やコンテンツ等にリンクするQRコードが用意され、理解を深めるための工夫がみられる。
技術・家庭 (家庭分野)	開隆堂出版	問題発見、課題設定、計画、実践、評価・改善という学習の流れで構成され、興味や関心、疑問から課題解決に向かう力を身に付けるように工夫されている。「調理の基礎」や「製作の基礎・基本」で基礎的な技能をまとめて示し、内容のまとまりごとに「学習のまとめ」が設定され、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるように工夫されている。 ロールプレイングや触れ合い体験、インタビューや地域等の取組の紹介など、人との関わりについて考えることができるよう工夫されている。また、家庭分野に関係する仕事や取組を行っている人物を「先輩からのエール」で取り上げ、興味・関心を高め、社会や家庭生活とのつながりを感じられるよう工夫されている。多様な活動例や実践例が写真や図を使用して掲載されており、個に応じて選択し、実践できるように工夫されている。 実物大写真や多様なデジタルコンテンツが参照でき、学習効果を高めるための工夫がされている。
英 語	光村図書	各単元は「扉」「Part」「Goal」で構成されており、スパイラルに学習しながら「You Can Do It!」での統合的な活動につなげる構成となっている。本文は3年間ひと続きのストーリーとなっており、ラウンドシステムの授業にも対応できるように工夫されている。 「Daily Life」では、実社会の言語使用場面で役立つ力を身に付けられる領域統合型の活動や、自分の言葉で表現する力や即興力を継続的に養えるように「Let's Talk!」や「Story Retelling」が設定されている。また、豊富なインプットから少しずつアウトプットに進めるよう、目的や場面、状況に応じて英語を繰り返しながら学べる構成となっており、各単元では、本文に加え「Part」や「Goal」にも聞く活動が設定されている。 単元ごとにQRコードが掲載されており、アニメーションや実写映像などをスマートフォンなどで再生ができるように工夫されている。学習者用デジタル教科書では、教科書のストーリーの実写ドラマが用意され、活動の内容に関連したスピーキングテストに取り組めるように工夫されている。

種目	発行者名	主な採択理由
道 徳	教育出版	教材の冒頭に「導入」の問いが設けられ、その時間に学習する道徳的価値や学習テーマを共有することで、見通しをもって学習できるように工夫されている。また、教材末尾の「学びの道しるべ」の3つの問いで、ねらいとする道徳的価値について段階的に考えることができ、これからの生き方について考えを深められるように工夫されている。 異なる立場からの考えを取り上げた教材や、登場人物が判断を迫られる内容を扱った教材が扱われ、問題解決的な学習に取り組むことができるように工夫されている。また、「やってみよう」でのロールプレイを通して、生徒が日常の体験と結びつけて学習できるように工夫されている。 「いじめ問題」「生命の尊さ」「情報モラル」「持続可能な社会」など現代的な課題をはじめ、「防災」など、多様な教材を取り上げ、様々な視点から問題の本質について考えを深めていくことができるように工夫されている。 QRコードからアクセスできる「まなびリンク」が用意され、教材に関する補足資料や映像資料を見ることができるように工夫されている。